

御前山ビオトープ通信

平成30年5月31日

第54号

発行：御前山ダム環境センター

メール：denen21@hb.tp1.jp

ホームページ：<http://w01.tp1.jp/~a071771011/>



目次

1. 田んぼの学校出前授業
2. 桧山の田んぼで小学生の田植え
3. 本年度第1回目のビオトープ育成活動

【案内図】



今年の春季の行事では、山桜を鑑賞しながら御前山ダム湖周辺を歩く会は大勢の参加申し込みをいただきながら、悪天候のため直前に中止となりましたが、田植えや育成活動は無事行うことができました。

1. 田んぼの学校出前授業

御前山小学校の5年生は、今年から稲作体験を行うことになりました。平成30年5月9日（水）は、実際の現場での田植えに先たち学校において出前授業が行われました。

1時限目はNPO（清野）から、田植えの仕方などの基本事項、なぜ田植えをするか、田んぼの役割、生命や環境、田植えを通じて皆で協力し合うことの大切さを実感することなど幅広い説明が行われました。2時限目は地元JAから、バケツ田んぼの指導が行われました。

2. 桧山の田んぼで小学生の田植え

平成30年5月23日（水）は桧山集落の御前山環境センター青山会長の田んぼで子供たちの田植えです。

朝早くから35名もの地域集落の皆さんが、子供たちの田植えの準備をしてくれました。9時ころ、御前山小学校の5年生17名が校長先生をはじめ4名の先生に引率されてバスで到着しました。子供の挨拶、受け入れる地元からの挨拶、田植えの実際のやり方などについて説明を受けて早速田んぼに入ります。

普通の長靴では、やはりかなり歩きづらいこともあり、最初は戸惑っていましたが、集落の皆さんの手取り足取りの指導を受けて徐々に慣れてきます。

御前山小学校の出前授業



桧山での田植え



一時間ほどで予定の面積を植え終わりました。小川で泥を落とし着替えて、バスで元気に帰って行きました。田植えをしたこともあるという子もいましたが、多くは初めてで、皆で並んでわいわい騒ぎながら作業を行い、楽しく貴重な経験ができたと思います。

3. 本年度第1回目のビオトープ育成活動

平成30年5月30日(水)当日の午後は大雨が心配されましたが、作業は午前中に行うことから、予定通り実施することにしました。

今回は参加者が50名近くとかなり増えて、駐車場が満杯の状況でした。東京方面などの遠方者も含めてほとんどが9時頃にはビオトープへ集合し、青山

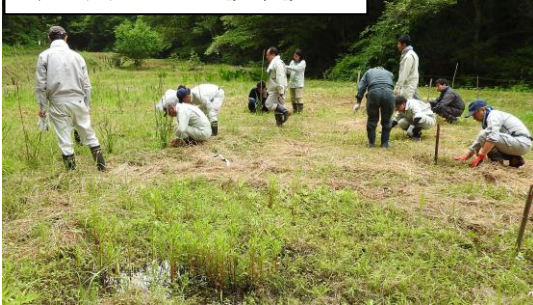


終了後に集合



バスから手を振って帰ります

希少種周辺の選抜草抜き



会長の挨拶やNPOから作業分担説明を受けて、さっそく作業開始です。

ビオトープは地元集落の皆さんが予め刈払い機により草刈りをしていただいたことから、希少種周辺の草を手で選抜草抜きます。林間の移植地は手前の一か所が、元気のない状態であったことから集中的に枯れ枝などを除去しました。休憩後、参加者の提案で伸びすぎた樹木の枝払いや取水口の水回し整備を行いました。

山桜植樹地の下地整備



大変だったのは、桧山大橋右岸の山桜植栽予定場所の刈払い整備作業です。雑木がかなり繁茂してしまい、当初は立ち入るのも大変な状況でしたが、数台の刈払い機と人海戦術で徐々に元の地形が見えるようになってきました。汗まみれになりながら、大勢のボランティアによる奮闘の成果で下地整備が完了しました。ありがとうございます。

昼食は地元で用意してくれて、さわやかな山間の風が流

れる中で美味しくいただきました。

食事の合間に、NPOから今回の作業に関連する山桜植樹の経緯などについて説明がありました。

午後は天気予報通りに雨が降ってきたので、際どいタイミングでした。

ご苦労様でした！

